

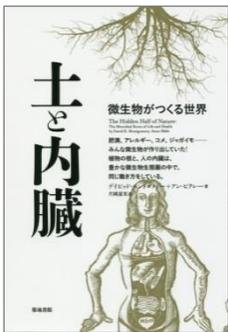


# 図書たより

明治大学中野図書館

## 図書館員オススメの本

【デイビッド・モントゴメリー、アン・ビクレー『土と内臓：微生物がつくる世界』築地書館，2016】



原題は"The Hidden Half of Nature: The Microbial Roots of Life and Health"である。生物の起源や健康の根源には微生物の存在があるというのが、この本のテーマである。地球上には10の30乗個の微生物がいて、つなげると1億光年。種類は数百万から数億種があると推定されている。そんな微生物は土の中にも無数に存在し、植物とも助け合っている。植物は微生物が分解した養分をもらい、さらに滲出液を出して有用な微生物を集めて、病原菌を寄せ付けないなどの戦略をとっている。そして、人の消化管も植物の根と同じだということだ。大腸内の微生物は、栄養素や薬効成分を作り出し、免疫力を高めるのに必須である上に、神経系とも情報伝達を行っているという。この本は、土壌が健康であることの恵みを体内に取り入れるという、健やかさの基本を考え直すきっかけを与えてくれる。

【角田光代『笹の舟で海をわたる』新潮社，2017。--（新潮文庫：か-38-13）】



自分が60歳半ばをどのように過ごしているか想像するのは案外、難しいかもしれない。リタイアして第2の人生を歩み始めているかもしれないが、人生50年は過ぎていて、ライフヒストリーも様々な出来事でいっぱいになっているだろう。

この本は、高度成長期に結婚し家庭を築きあげてきたひとりの女性が、夫の死後、終の棲家を探すまでの物語である。幼少期における疎開先での辛い体験や家族との関わりあいを中心に進んでいくが、同時に昭和後期の社会やくらしの出来事が織り交ぜられているのも興味深い。初めて新幹線に乗りその速さに恐怖を覚え、銀座に開店したハンバーガーを新製品の電子レンジで温める、今では当たり前なのに初めてふれる庶民の感覚が描かれている。物語の終盤に義妹と喧嘩をする場面がでてくるが、人生はいろいろな人と関わって成り立ち、流されるように人生を送っていても、選択しているのはいつも自分であるということを忘れずにいたい。

【草刈民代『舞うひと：草刈民代×古典芸能のトップランナーたち』淡交社，2017】



中学校でダンスが必修化されて早数年…。賛否両論のスタートだったが、これによってダンスの楽しさ・難しさを知った方も多いだろう。

では、古典芸能の「舞」はいかがだろうか。この本は、バレエダンサーとして活躍した草刈民代さんが12人の「舞うひと」と語り合った対談集である。登場するお相手は日本舞踊の藤間勘十郎さん、能の観世清和さん、歌舞伎の尾上菊文助さん、狂言の野村萬斎さん、他にも琉球舞踊や雅楽などから当代一流の舞い手ばかり。どの対談にも、稽古の厳しさや身体表現の深遠さ、舞台に立つ覚悟まで、はっとさせられるフレーズが頻出する。みなに共通するのは「舞うには心が大事」という言葉だ。心も体も精進を重ねる彼らのモノクロ写真も多数収められており、一瞬一瞬が美しい。

【永田和宏 [ほか] 『僕たちが何者でもなかった頃の話をして』 文藝春秋, 2017】

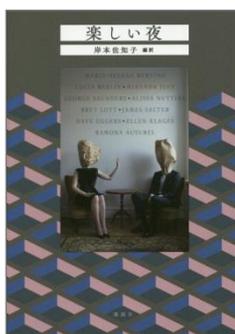


本書は、iPS細胞の開発者の山中伸弥氏、プロ棋士の羽生善治氏、映画監督の是枝裕和氏、霊長類学者の山極壽一氏の講演と、細胞生物学者でもあり歌人の永田和宏との対談が収められている。世界で活躍する4人の、自分が何者でもなかった頃に考えていたこと、苦労や挫折、影響を受けたことについて語っている。

現在の山中教授の活躍ぶりからは考えられないが、かつて「ジャマナカ」とよばれていた時代がある。医者を目指していたが外科手術がまったく苦手で断念し、ほとんど何のツテもない中で三十歳のときにアメリカへ渡る。山中氏は、予想と反対の結果が起こったときに、がっかりしてもおかしくなかったのだが、異様に興奮してワクワクしたそう。何かが起こったときに心から不思議と思えるか。新しい何かを面白がるか。興奮して我を忘れることができるか。その好奇心が新しい発見につながったのかもしれない。

4人の言葉から、人生はひとりひとり違う。自分だけの人生があるということに改めて気づかされる。思わずやる気がわいてくる一冊である。

【岸本佐知子 [編訳] 『楽しい夜』 講談社, 2016】



表題にもなっている「楽しい夜」の原題は「Such Fun Jo ジェームズ・ソルターというアメリカ人作家の作品を岸本氏が翻訳している。

主に3人の女性の会話で話が進んでいくが、小気味よいテンポの中にどこか気になる「言葉」や「存在」が浮かび上がってくる。その理由は最後に意外にもあっさりとなる。

翻訳者として人気の岸本佐知子氏が翻訳・編集をした11人の短編集。彼女の選り取る海外文学の世界が凝縮された1冊である。

## 図書館からのお知らせ

- ゼミガイダンス開催中です。  
説明等で騒がしくなることがあります。  
どうぞご了承ください。
- 5 / 29 (火) は 13時 ~ 22時の  
短縮開館日となります。  
お気をつけて来館してください。